

証券コード：6567

2023年8月28日

# 事業計画及び成長可能性に関する事項



株式会社 SERIO ホールディングス  
代表取締役社長 若瀨 久

家族を笑顔に!  
**serio**

1. **会社概要**
  2. **事業環境**
  3. **2024年5月期 通期業績見通し**
  4. **中期経営計画2024~2026**
  5. **主なリスクと対応策**
- 参考資料**



社名	株式会社SERIOホールディングス
設立	2016年6月1日
代表者	若濱 久
資本金	693,263千円
従業員数	正社員 920人 パートタイマー等 2,495人 (2023/5月末時点 連結)
本社所在地	大阪市北区

## 《主要グループ会社》

社名	株式会社セリオ
設立	2005年6月24日

上場証券取引所 東証グロース (証券コード: 6567)



『SERIO』 ポルトガル語で『まじめ』という意味

- |       |     |  |
|-------|-----|--|
| 2005年 | 6月  | 大阪市に(株)セリオ（資本金10,000千円）を設立<br>子育て中の既婚女性の人材派遣を主とした就労支援事業を開始 |
| 2010年 | 3月  | 小学生を対象とした放課後事業を開始  |
| 2012年 | 4月  | 未就学児童を対象とした保育事業を開始   |
| 2013年 | 12月 | 大阪市北区、淀川区で児童いきいき放課後事業の受託運営を開始                              |
| 2014年 | 4月  | 当社初の認可保育園を大阪市都島区に開設  |
| 2016年 | 6月  | (株)SERIOホールディングス（資本金10,000千円）を設立し、(株)セリオを完全子会社化            |
| 2017年 | 10月 | 就労支援事業の新ブランド“sacaso”（サカソ）の運用を開始                            |
| 2018年 | 3月  | 東京証券取引所マザーズ市場（現 グロース市場）に上場                                 |
| 2020年 | 12月 | (株)セリオの子会社である(株)クオーレを(株)セリオガーデンに社名変更 2021年1月より緑化事業開始       |
| 2023年 | 4月  | 放課後164施設 保育50施設 合計214施設運営                                  |

## Vision

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」

## Mission



仕事と家庭の両立応援



未来を担う子どもたちの成長応援

## 就労と育児の両面から女性の活躍を支援

### 働く『機会』の創出

パートタイマー型派遣で  
ライフステージに合わせた働く「場」を提供

就労支援事業  
(派遣・請負・紹介)

### 働く『環境』の創出

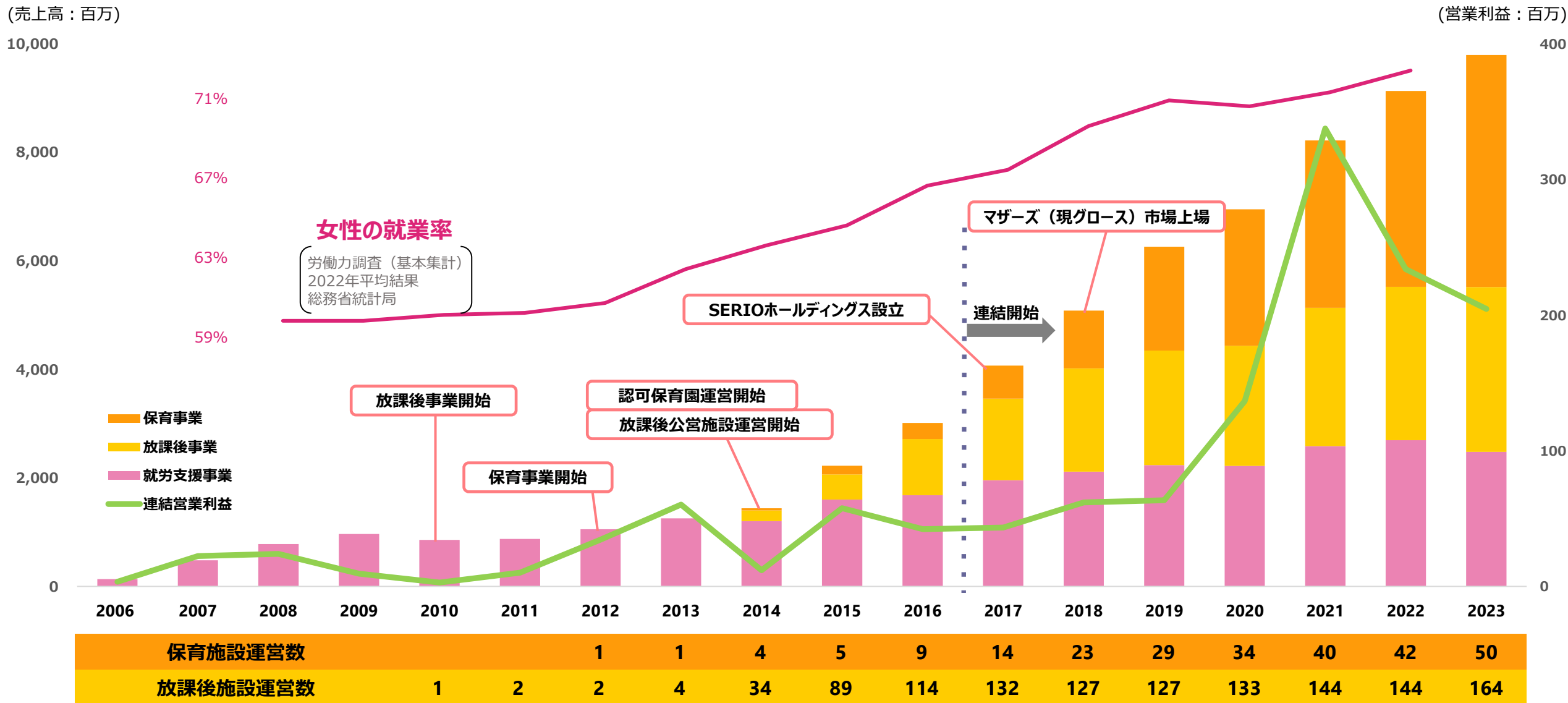
子どもたちの安心・安全な  
居場所を提供  
働く「時間」を創出

放課後事業  
(学童クラブ運営)

保育事業  
(保育園運営)

緑化事業  
(園庭芝生化)

保育セグメント



セグメントごと売上高…2014/5月期以降 (2010/5月期～2013/5月期は合算)

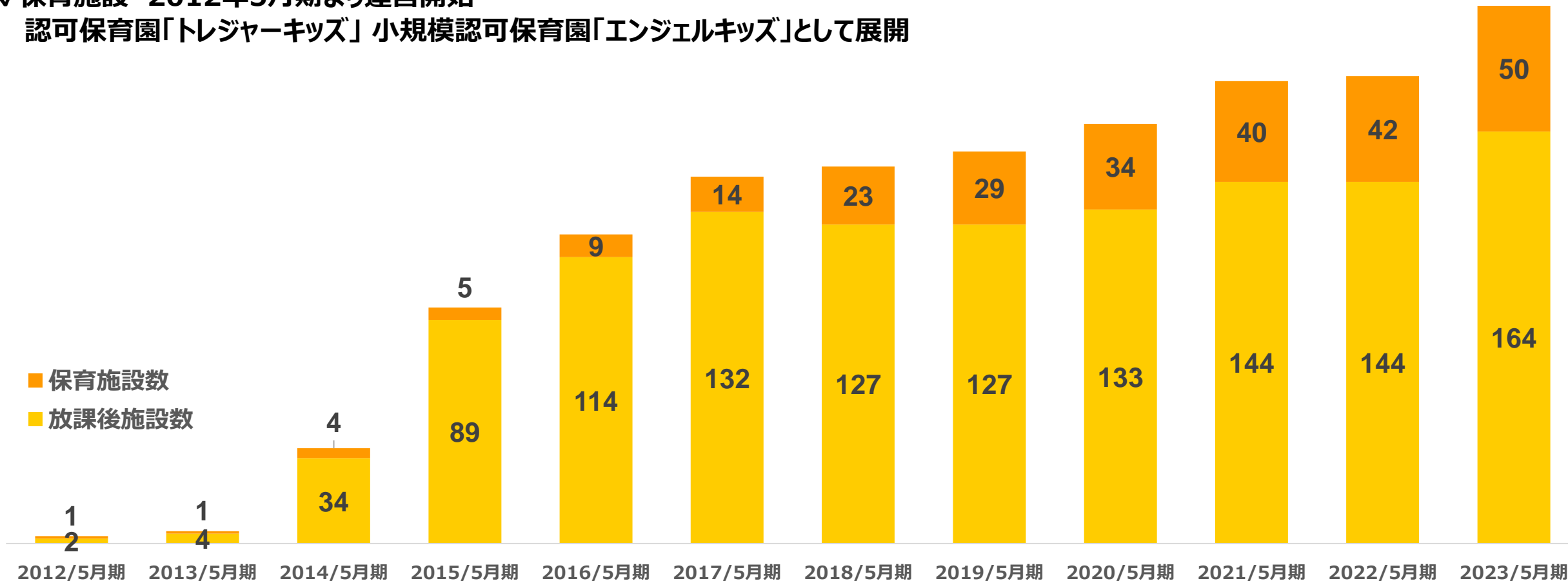
2016年1月監査法人契約開始

✓2023年5月末現在、放課後164施設、保育50施設 計214施設運営（前年比+28）

✓放課後施設 2010年5月期より運営開始

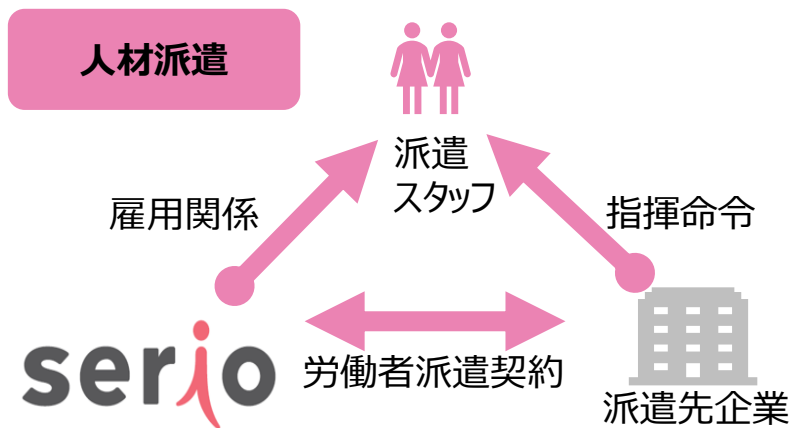
✓保育施設 2012年5月期より運営開始

認可保育園「トレジャーキッズ」小規模認可保育園「エンジェルキッズ」として展開

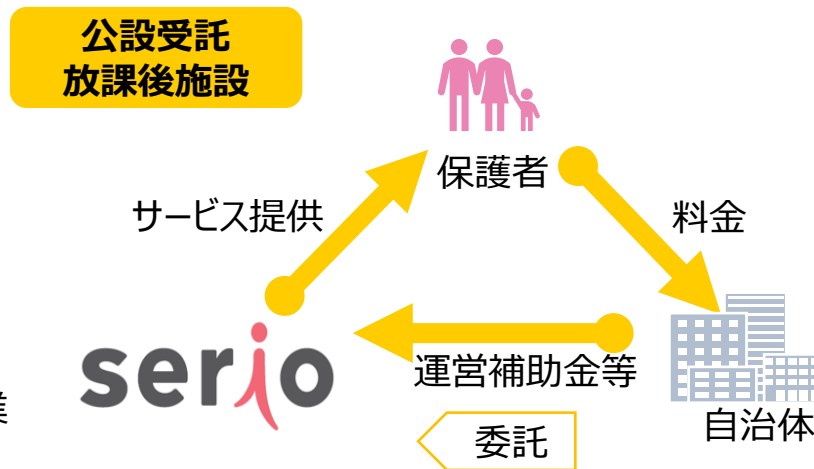




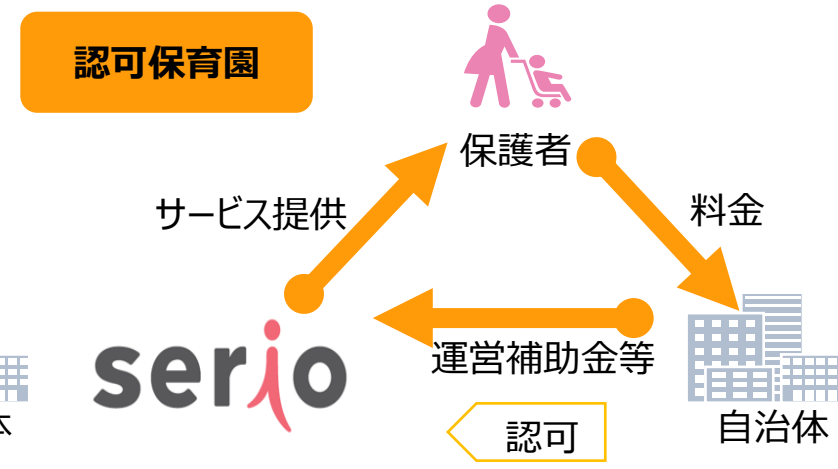
就労支援事業	放課後事業	保育事業
人材派遣・業務委託契約・業務請負契約・人材紹介	公設受託放課後施設・私立小学校アフタースクール・民間アフタースクール ・年度ごとに自治体からの運営委託契約	認可保育園・小規模認可保育園・企業主導型保育園・地域子育て支援施設 ・毎月の <b>在籍園児数</b> をもとに自治体からの運営補助金が決定



	2023年5月期 売上比率
人材派遣	69.8%
業務委託	30.0%
人材紹介	0.2%



	2023年5月末時点 施設数
公設放課後	155
私立小学校	9

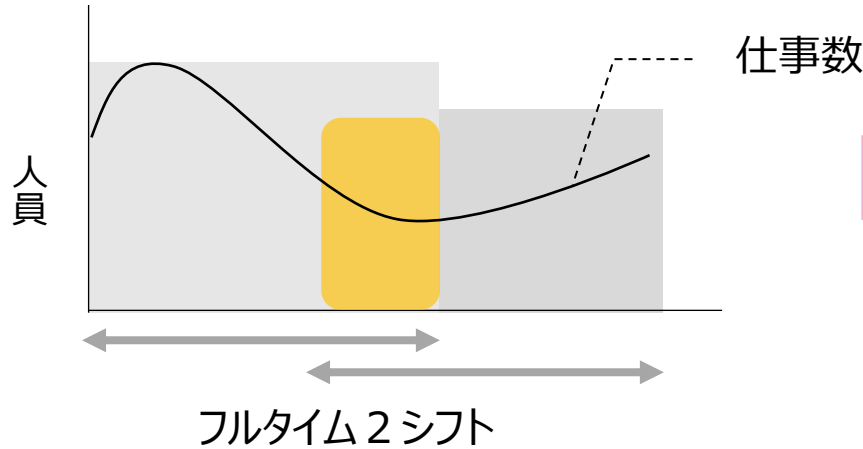


	2023年5月末時点 施設数
認可保育園	30
小規模認可保育園	12
企業主導型保育園・事業所内保育園	5
地域子育て支援施設	3

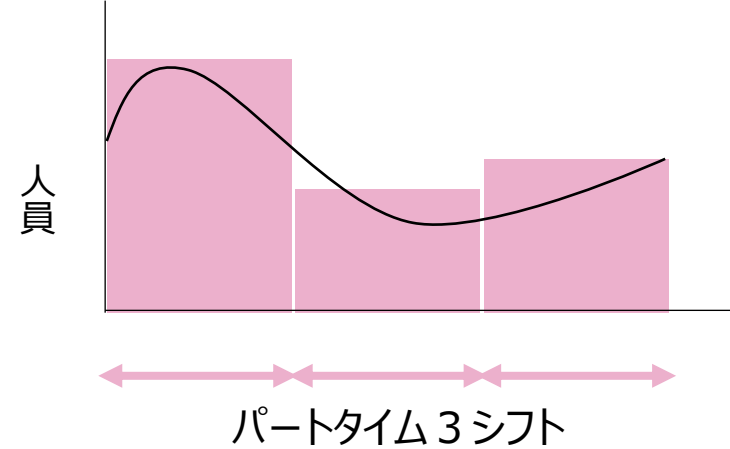
派遣先企業：日次・週次・月次・年次での業務効率と人件費効率を同時に向上  
派遣登録スタッフ：1日3時間勤務や週3日勤務等、仕事と家庭を両立した働き方を実現

時間対応

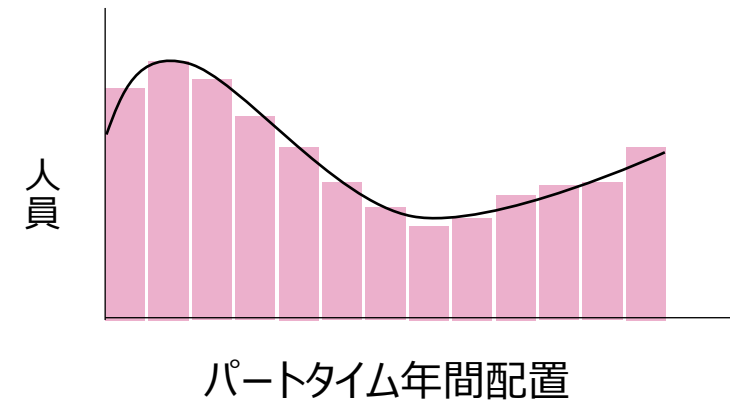
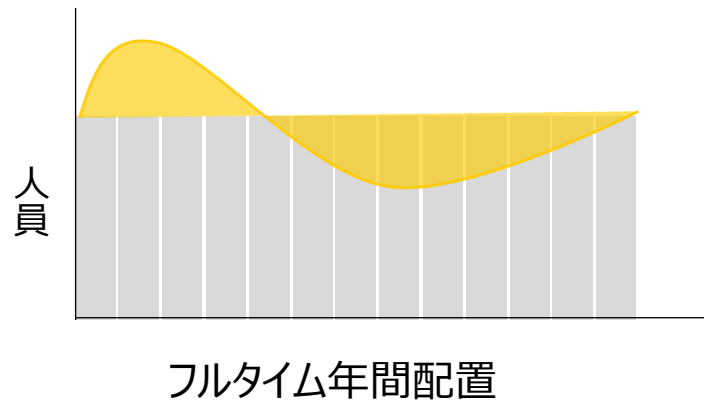
■従来のフルタイム型シフト



■セリオのパートタイマー型シフト

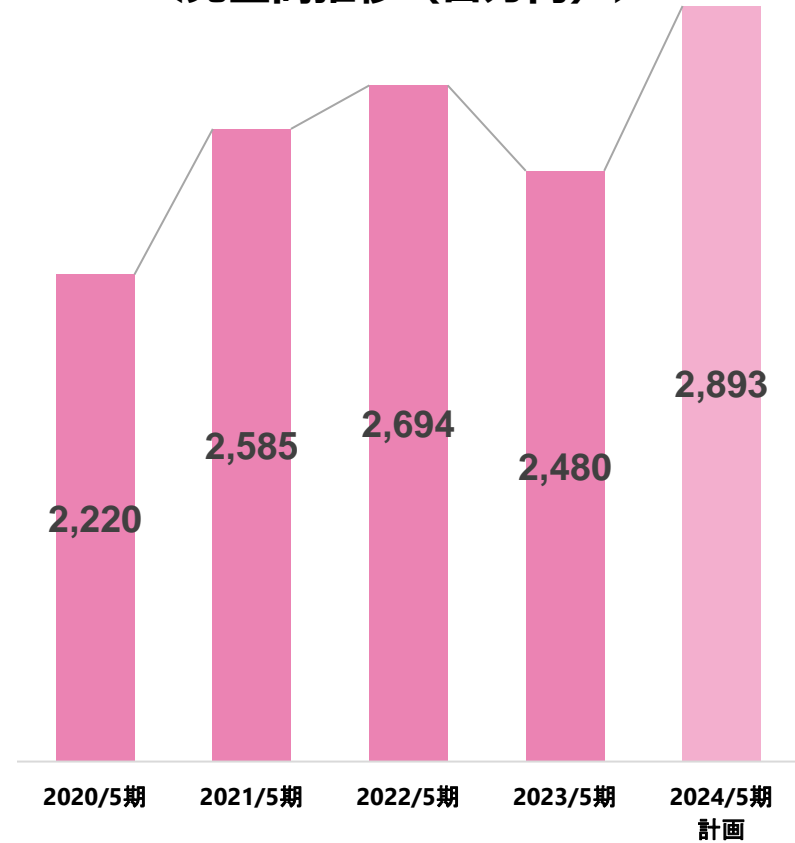


年間対応

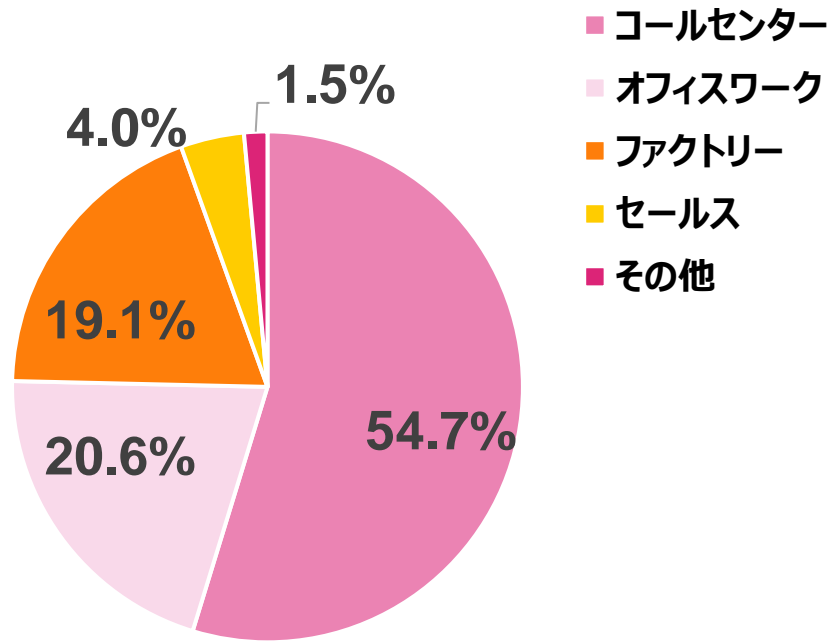


✓2023年5月期中に採算性向上のため福祉人材紹介事業から撤退（2023/5期の売上高5百万円）、人材派遣事業に集中  
 ✓人手不足感の強いサービス業への新規開拓を進め、足元の業績は順調に推移  
 ✓営業活動強化の一方、2023年3月から派遣登録者数の増加策に着手

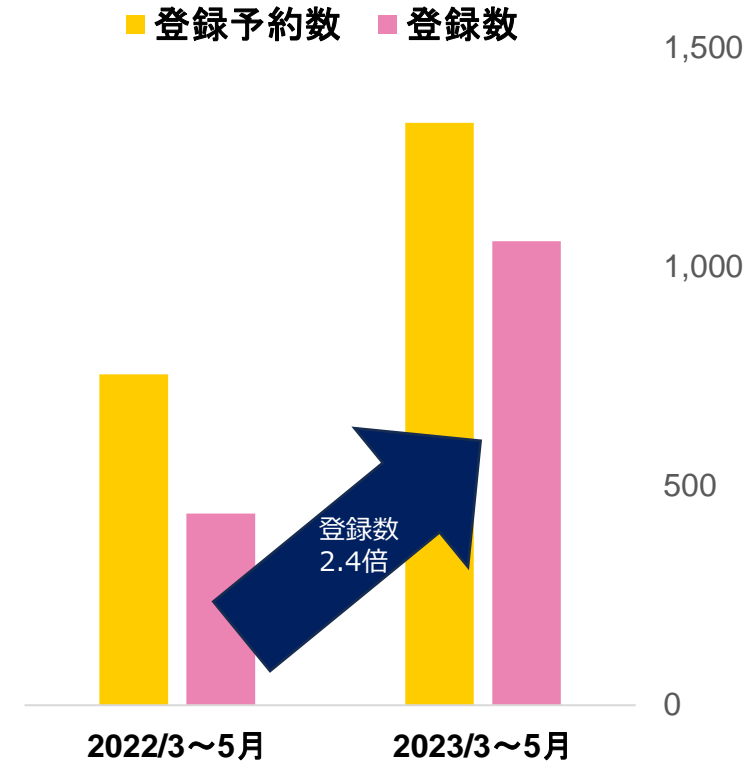
＜売上高推移（百万円）＞



＜2023/5期 職種別売上高比率＞

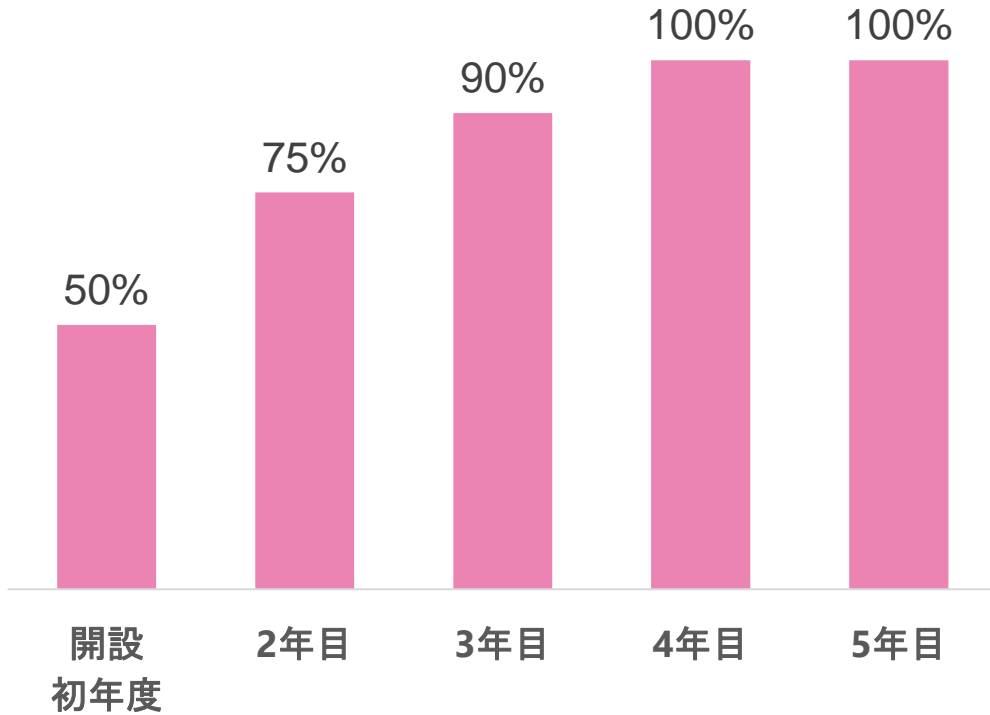


＜派遣登録者の前年比較（人）＞

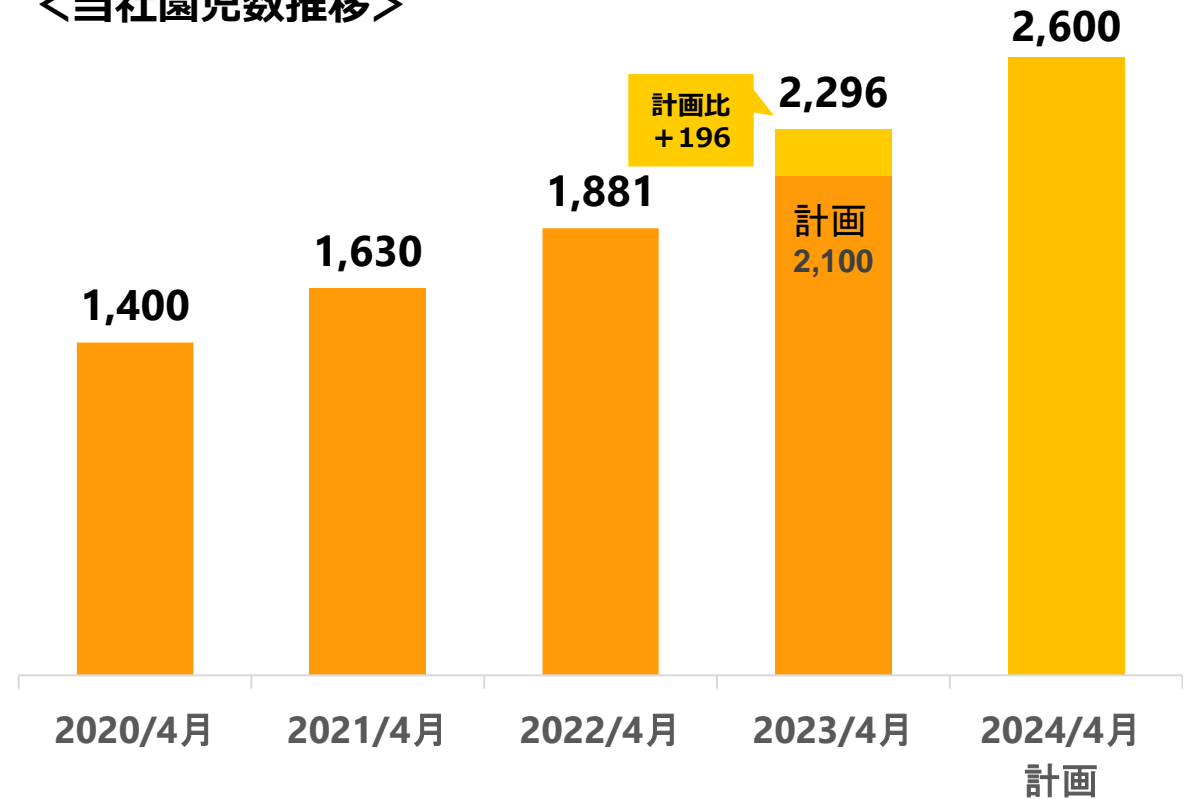


- ✓計画を上回る新規開設及び既存園の園児獲得が順調に進捗
- ✓年度途中での園児数増に向け、引続き月次で保育園児数のKPI設定とモニタリングを実施していく
- ✓新規開設初年度は「0、1、2歳児」の受入れが主→年度を追うごとに充足率が上がる
- ✓売上は園児数と比例

### <園児数充足モデル>



### <当社園児数推移>



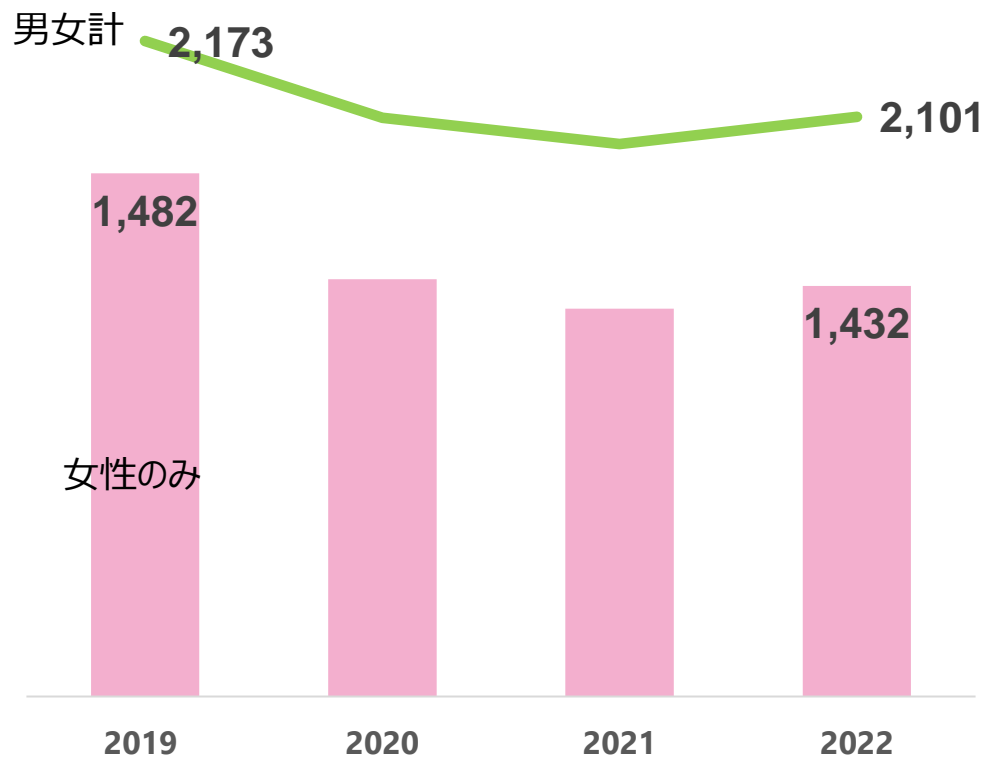
内閣府は 保育、放課後の受け皿確保をベースに  
2025年女性就業率82%と目標設定（2022年72.4%※）  
**当社事業領域は政策とリンクしている**

政府の動き	政策カテゴリ	女性就業	育児両立支援制度の確立	
	現行政策	女性就業率80%	保育	放課後
	2020年12月発表 「新子育て安心プラン」	2025年 女性就業率82%	2020年度末 待機児童解消 ✓目標達成できず	2023年度末 受入児童数 +30万人 学童クラブ定員拡大
	2023年4月 こども家庭庁創設	こどもの視点・子育て当事者の視点に立った政策の企画立案・総合調整等		
	2023年6月 「こども未来戦略方針」案	「こども・子育て支援加速化プラン」～今後3年間の集中的な取組～		
当社事業	就労支援事業	保育事業	放課後事業	

※総務省統計局 労働力調査（基本集計）2022年平均より

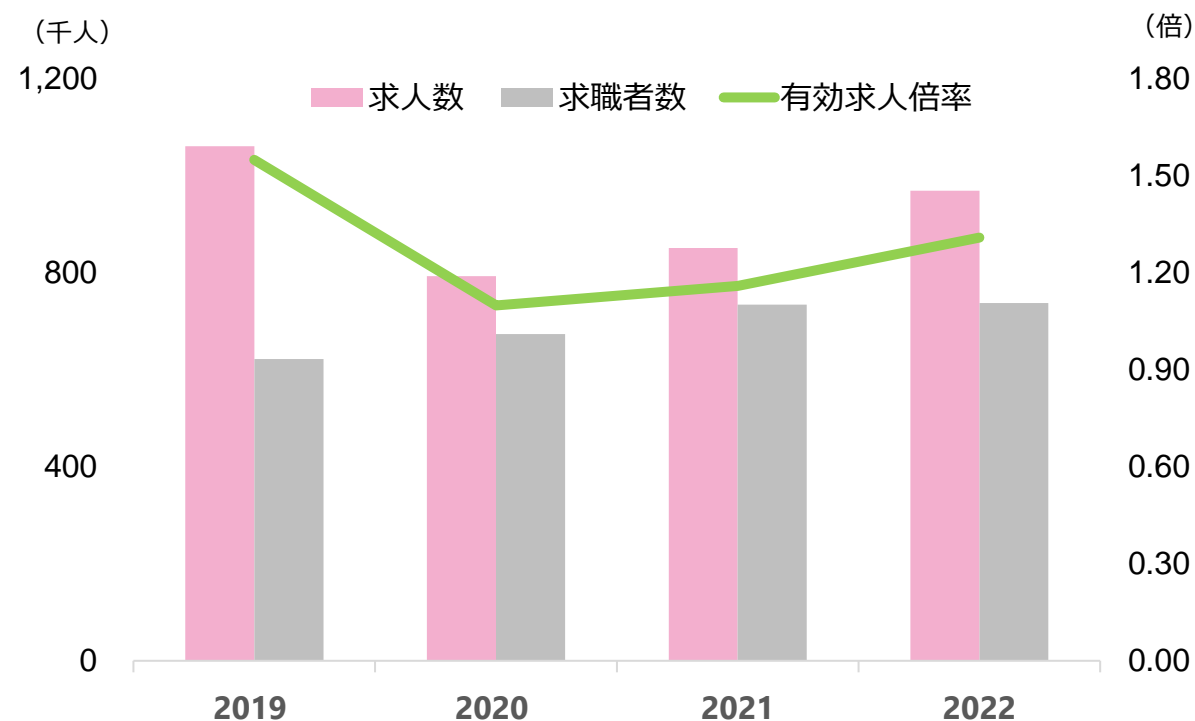
非正規従業員の就業者数はコロナ下の2020年に減少したものの、2021年増加に転じた。  
パートタイマーの有効求人倍率はコロナ前の水準に近づいており、人材需要は旺盛だが派遣スタッフ確保は厳しくなっている。

＜非正規の職員・従業員数推移（万人）＞



厚生労働省「労働力調査 2022年度」より

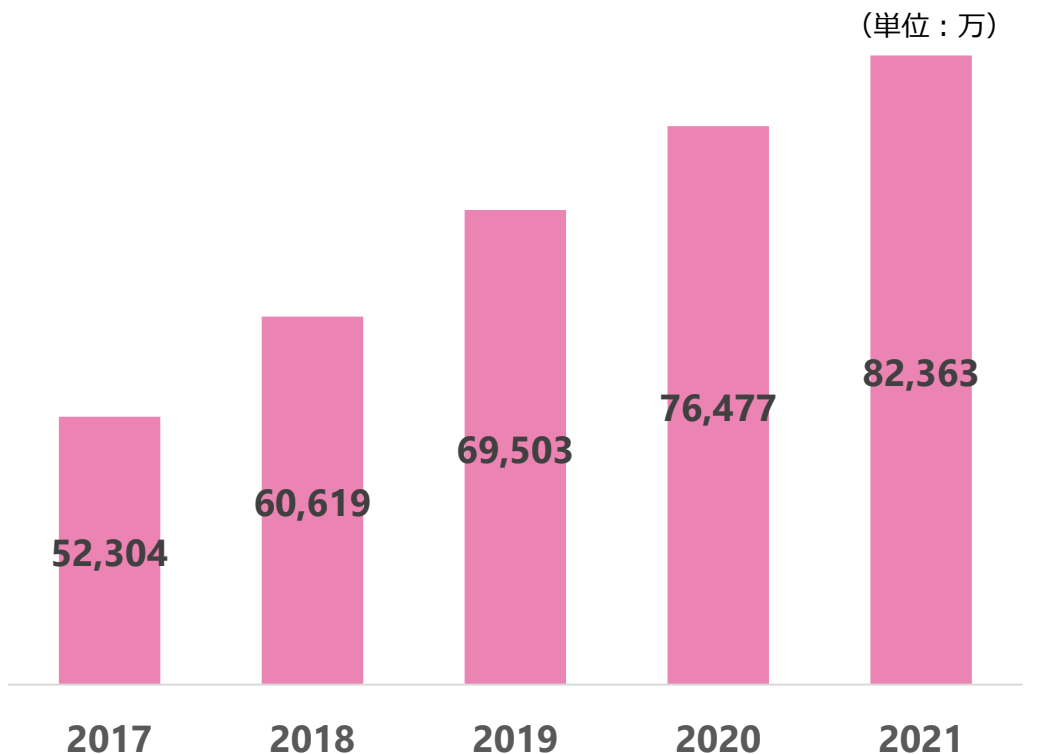
＜パートタイマーの求人・求職者数推移＞



厚生労働省「一般職業紹介状況[実数]（パート）（令和4年分）」より

人材派遣市場は拡大傾向にあり2021年度は8.2兆円規模（※）。当社は派遣先の多い地域に支店展開している。

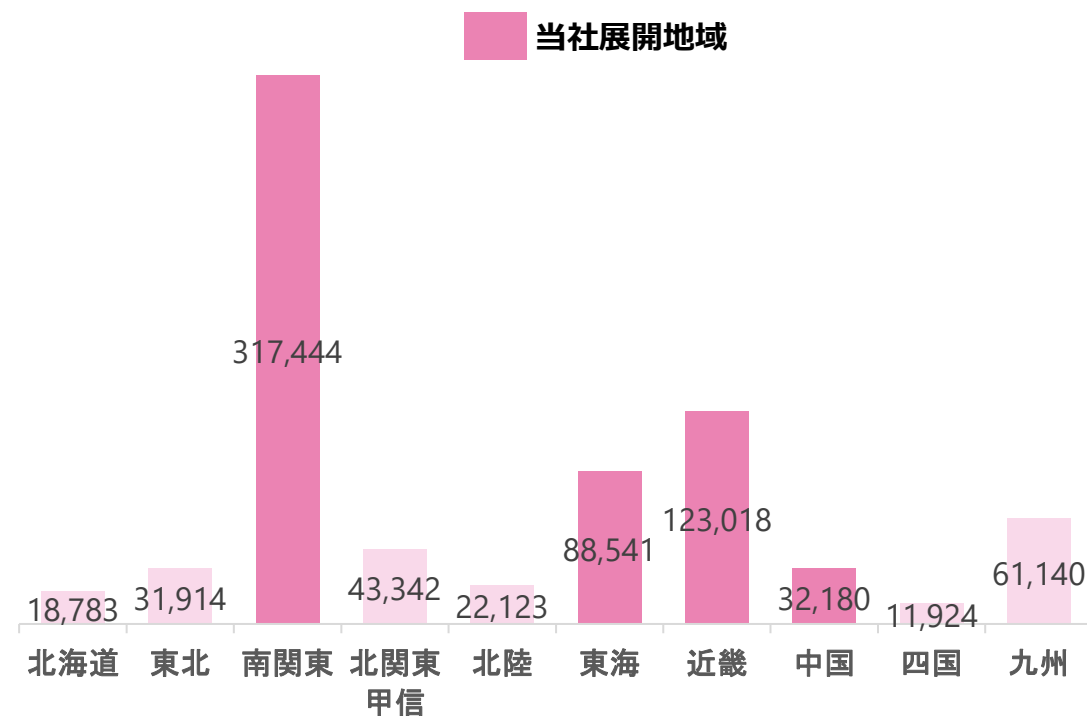
<人材派遣業 売上高推移（※）>



厚生労働省「令和3年度 労働者派遣事業報告書の集計結果（速報）」より

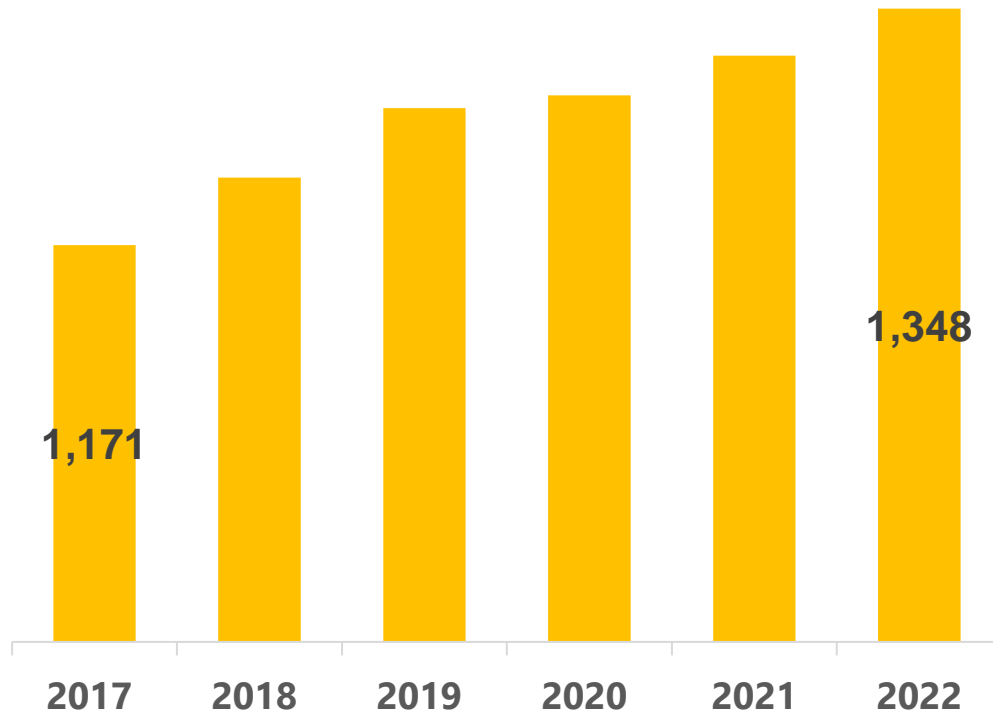
（※）厚生労働省が集計精度を高めるため必要な是正を行い、過去のデータ含め一定額の減額訂正を行ったデータとなります

<地域別派遣先件数（2021年）>

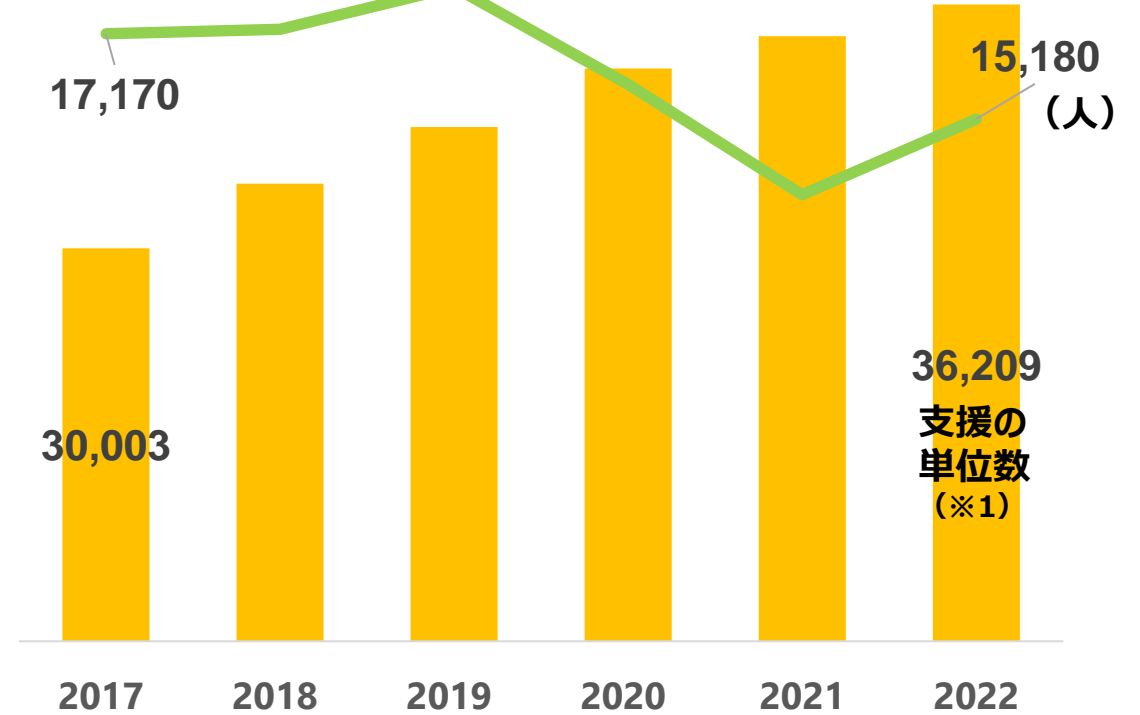


2022年は登録児童数が過去最高となり、学童の支援の単位数（※1）も増加。2020～2021年に一時的なコロナ影響による利用控えはあったものの、再び待機児童数が増加に転じ、需要には追いついていない状況。今後の市場拡大余地が大きい。

＜登録児童数の推移（千人）＞



＜学童の支援の単位数（※1）と待機児童数（人）の推移＞



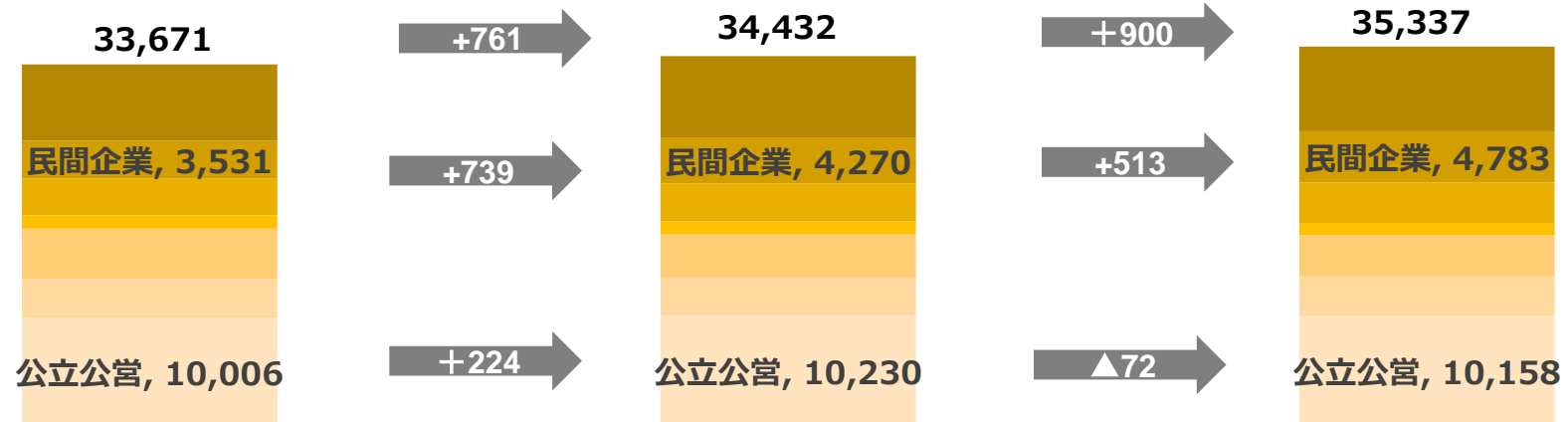
厚生労働省「2022年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（2022年5月1日現在）」より

※1…「支援の単位」とは、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により、児童の集団の規模を示す基準として2015年度から導入されたものであり、児童の放課後児童クラブでの活動は、この「支援の単位」を基本として行うこととなった。



民間企業による施設数（グラフは「支援の単位」数）は公立公営の減少を補うかたちで増加傾向。公立民営の増加数を株式会社運営の増加分でカバー。当社は公立民営の運営事業者として位置する。

＜公立学童施設の設置・運営主体別「支援の単位」数＞

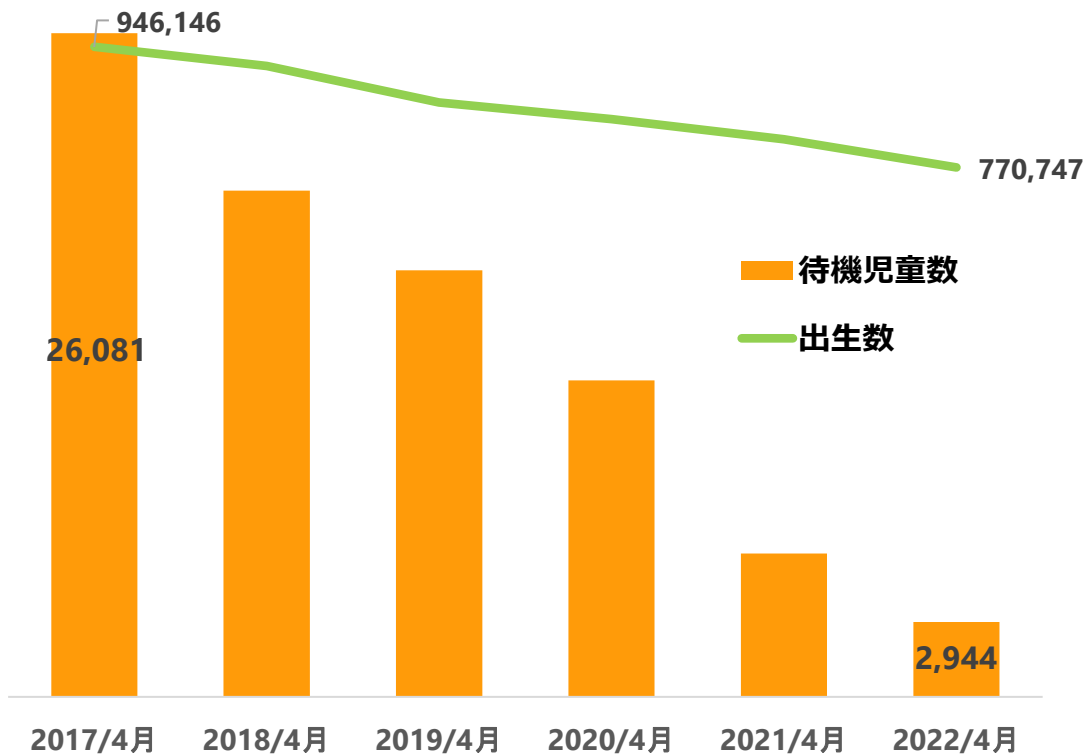


	2020年	2021年	2022年
■ その他学校法人等	7,139	7,629	7,915
■ 民間企業	3,531	4,270	4,783
■ NPO法人	3,422	3,537	3,775
■ 父母会・保護者会	1,246	1,159	1,134
■ 地域運営委員会	4,721	4,067	3,885
■ 社会福祉法人	3,606	3,545	3,687
■ 公立公営	10,006	10,230	10,158

全国学童保育連絡協議会「学童保育（放課後学童クラブ）の実施状況調査結果について」より ※厚生労働省公表資料と全体数は相違あるが運営主体者の傾向把握のためこちらを採用

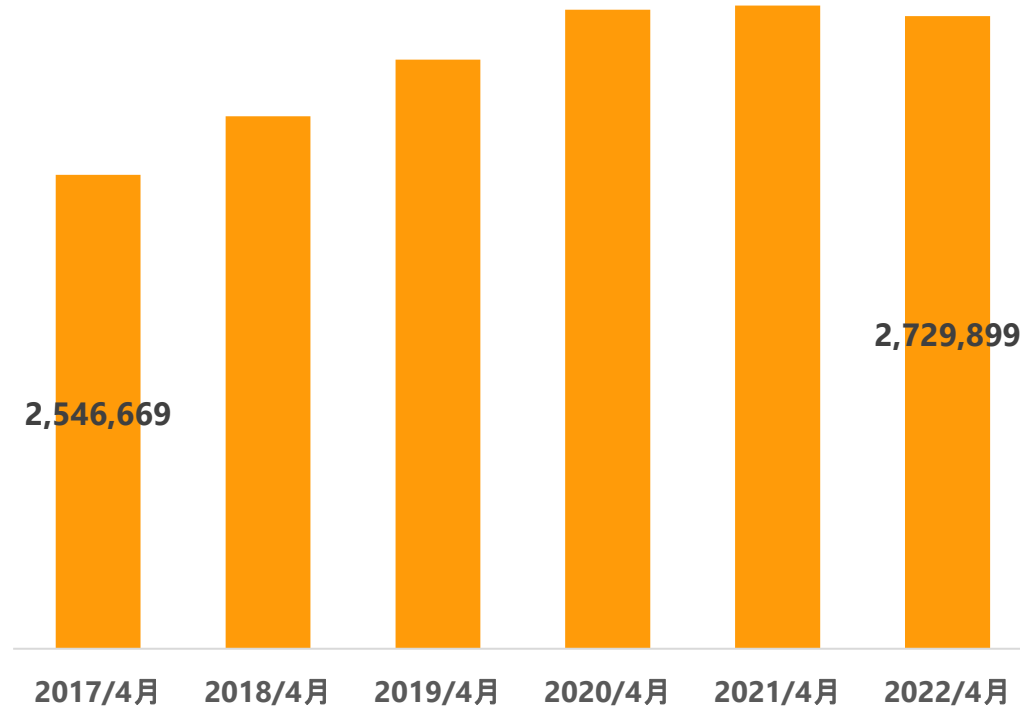
少子化は加速。待機児童数は年々減少しており、2022年4月時点では保育所を利用する児童がはじめて前年を割った。当社は女性の就業率上昇に伴う需要の高い地域に展開していく。

<待機児童数・出生数の推移（人）>



厚生労働省「令和4年（2022）人口動態統計月報年計（概数）の概況（令和4年）」より

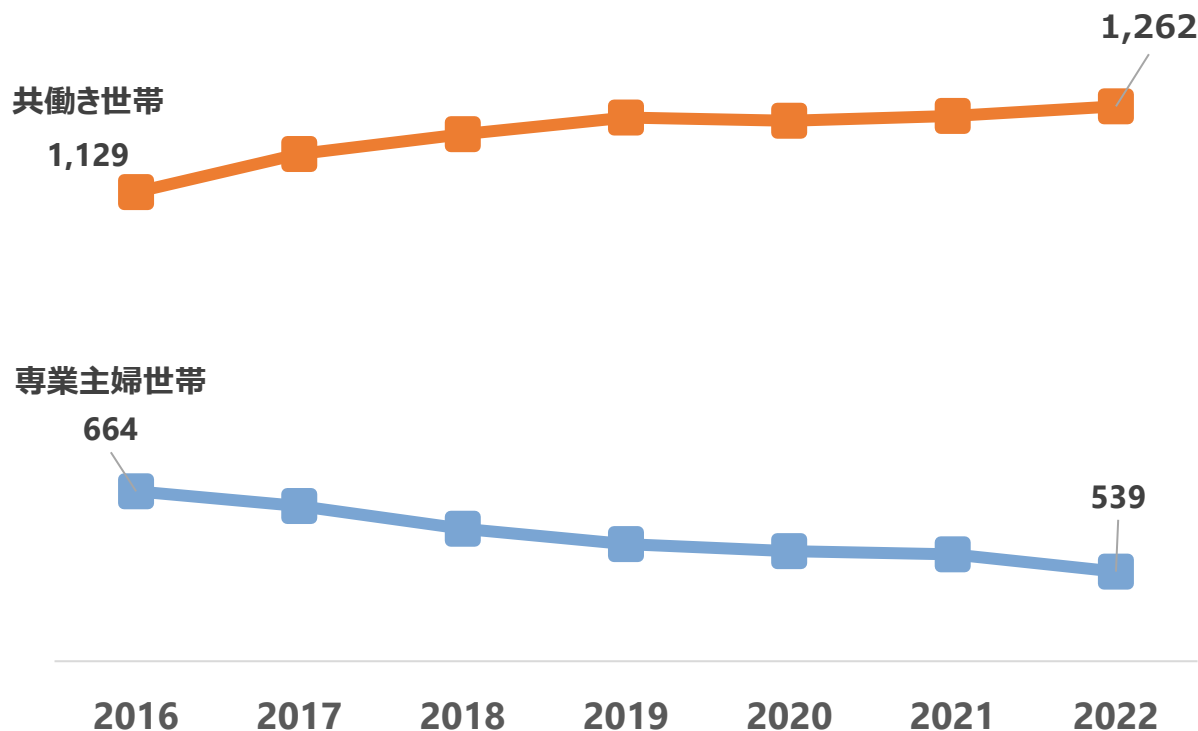
<保育所等利用児童数の推移（人）>



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」より

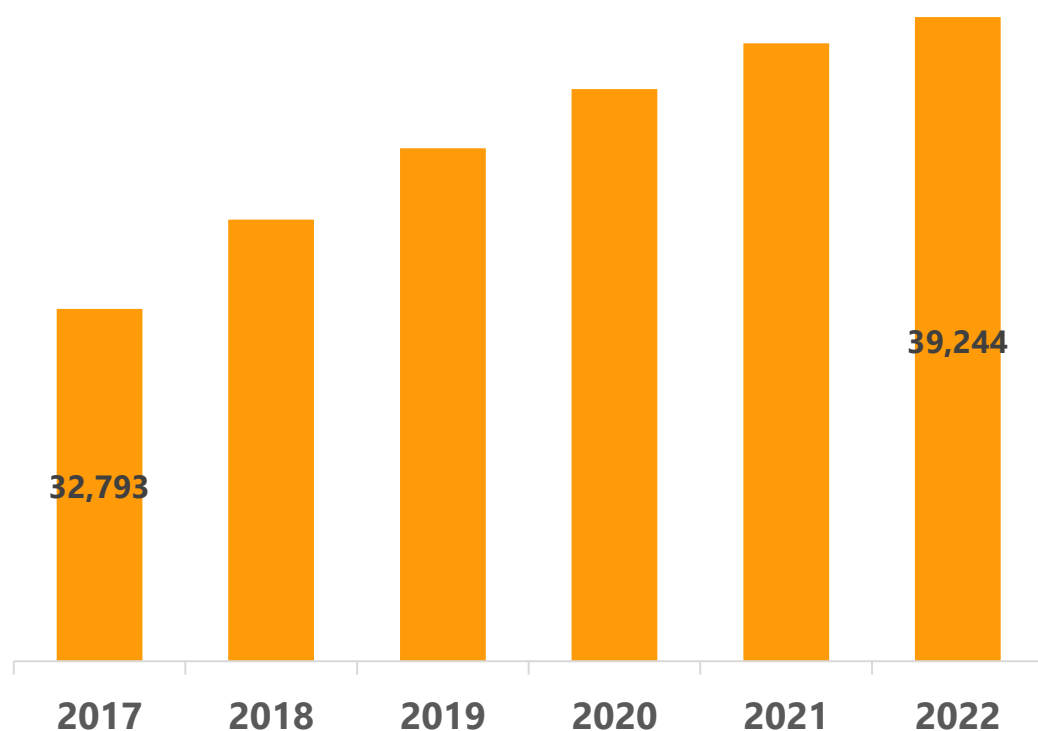
共働き世帯は増え続け、専業主婦世帯の倍以上の水準で推移。保育需要の高まりにより施設数は増加し続けている。

＜共働き世帯数の年次推移＞



総務省「労働力調査（詳細集計）」より

＜保育所等施設数の推移＞

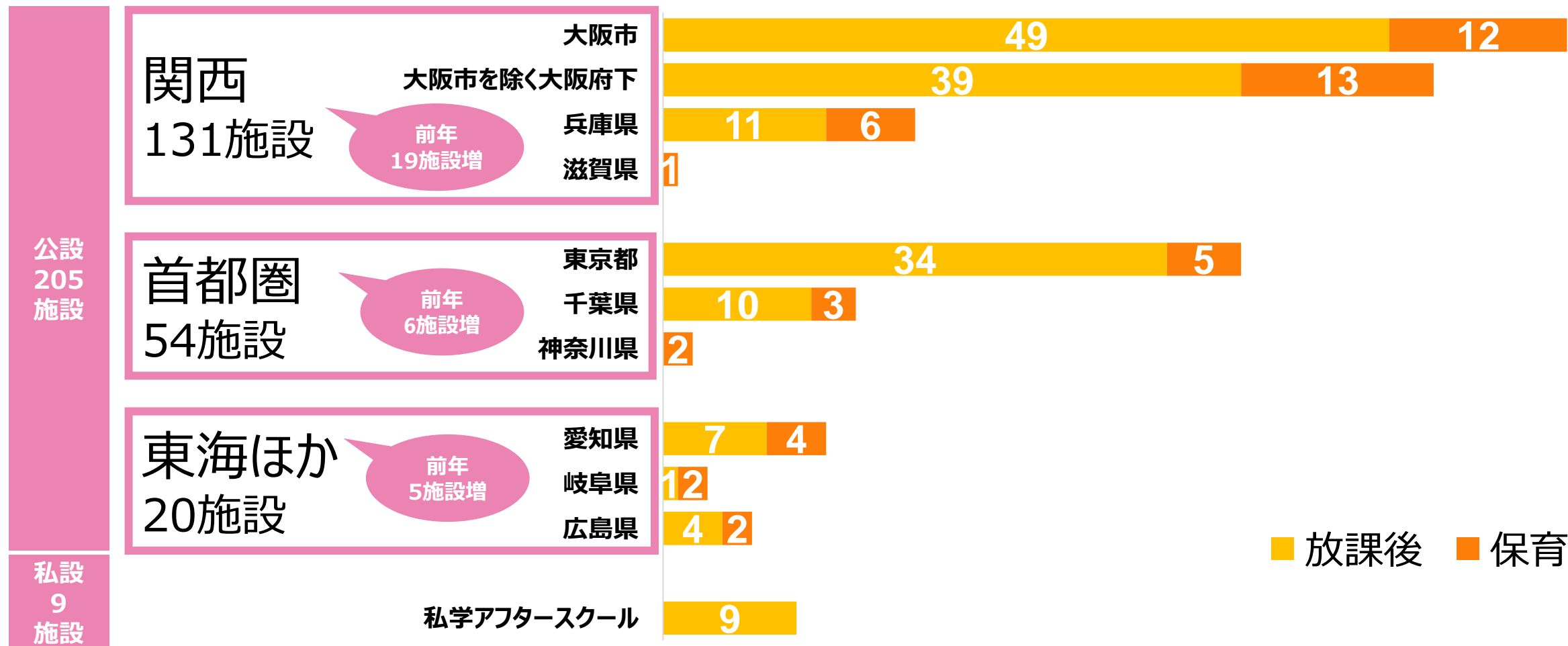


厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」より

当社運営施設の内訳（2023年5月末現在 計214施設※うち公設は以下枠囲み205施設）

✓ビジネスモデル上、4Q（4月）に新規開設が集中する

✓関西、首都圏を中心に事業を展開。参入障壁が高い自治体向けビジネスにおいて、競争力となる豊富な運営実績を有する



■ 放課後 ■ 保育

- ✓売上高、利益ともに過去最高の更新を見込む
- ✓2023/5月期中に不採算の事業や施設の撤退を完了し 利益率は改善する見通し
- ✓ICT化やドミナント展開による効率化の進展により販管費率の改善を計画
- ✓持続的な成長を見据え、新規事業、人材投資、ICT投資などは継続する

(百万円)

	2024/5期計画	構成比	前年増減率	2023/5期	
				実績	構成比
売上高	<b>11,110</b>	100.0%	+13.5%	9,792	100.0%
売上原価	<b>9,067</b>	81.6%	+12.1%	8,090	82.6%
売上総利益	<b>2,043</b>	18.4%	+20.1%	1,701	17.4%
販売費及び 一般管 理費	<b>1,604</b>	14.4%	+7.2%	1,496	15.3%
営業利益	<b>439</b>	4.0%	+114.5%	204	2.1%
経常利益	<b>407</b>	3.7%	+93.6%	210	2.1%
親会社株主に 当期純利益 を帰属する 利益	<b>264</b>	2.4%	+93.6%	136	1.4%

✓全セグメント二桁成長を実現し過去最高の売上高を見込む

- ・就労支援…派遣スタッフ獲得強化と新規顧客開拓を両立させ増収を計画
- ・放課後・保育…2023年4月新規開設施設の増加が売上に寄与する見込み

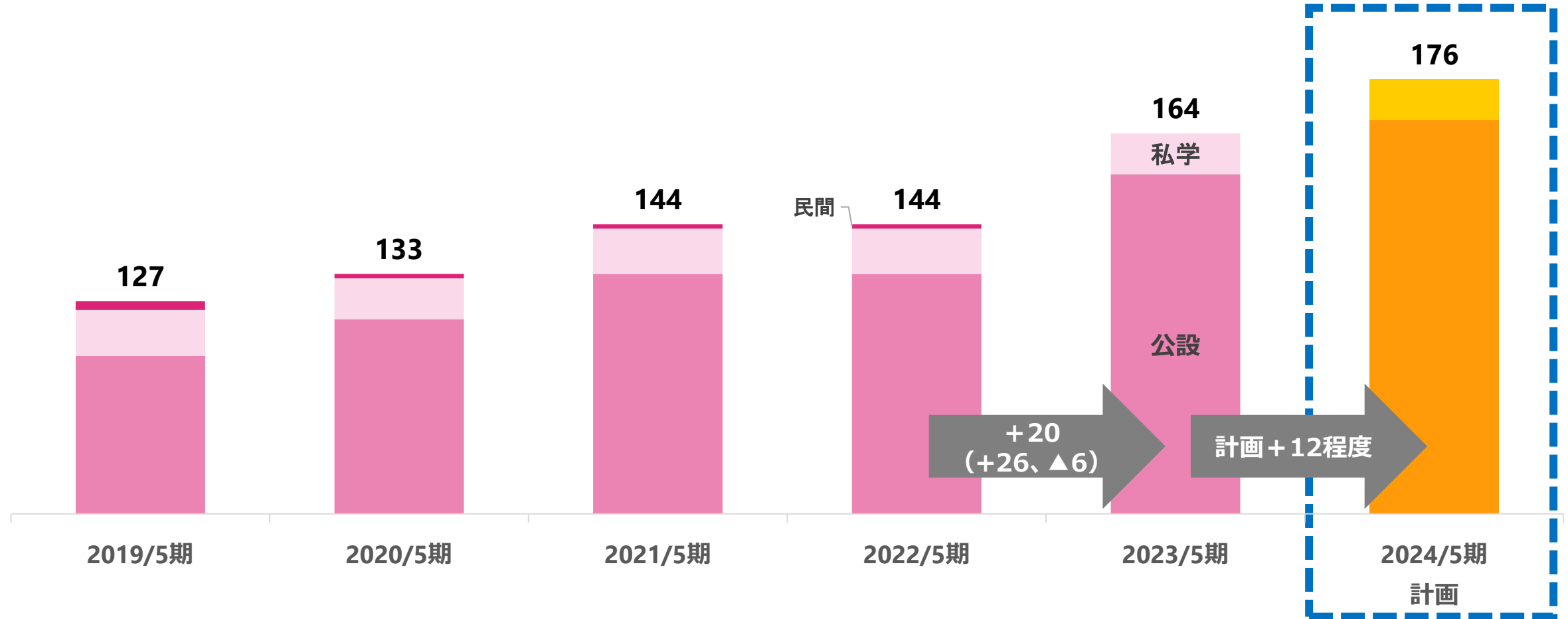
(百万円)

	2024/5期計画	2023/5期実績	増減率
就労支援事業	<b>2,893</b>	2,480	+16.6%
放課後事業	<b>3,410</b>	3,036	+12.3%
保育事業	<b>4,806</b>	4,275	+12.4%
合計	<b>11,110</b>	9,792	+13.5%

✓2024年5月期に12施設程度の開設を目指す

✓2023年5月末 164の放課後施設を運営

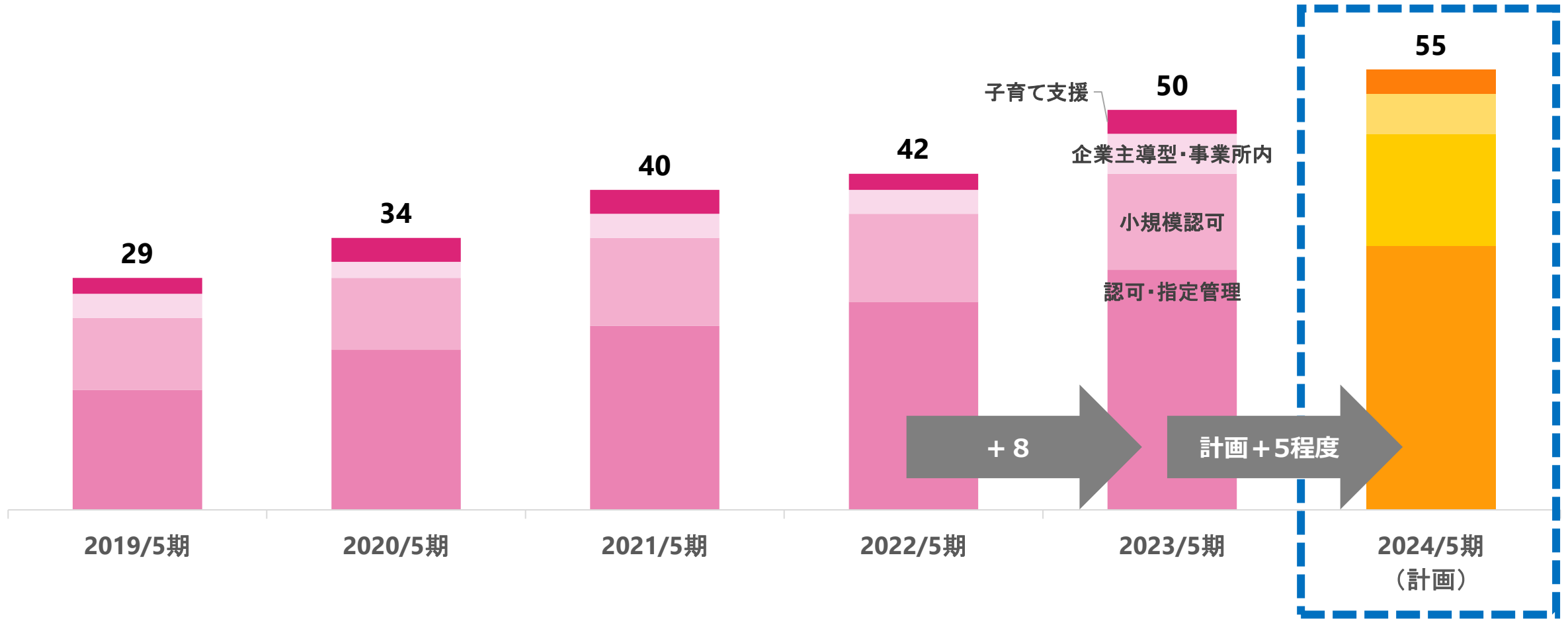
増減内訳：増加…新規開設26施設（全て公設受託） 減少…公設4施設、私学1、民間1（契約満了等）



✓2024年5月期に5施設程度の開設を目指す

✓2023年5月末 50の保育施設を運営

増減内訳：増加…新規開設8施設（認可3、指定管理1、小規模1、事業所内保育2、子育て支援施設1）





✓2023年5月期 緑化事業初の黒字化達成

✓AIロボット芝刈り機 + 自動散水システムにより、旧来の芝生管理コストの大幅削減を実現

✓施工顧客のメンテナンスはストック型のため安定収益を見込む

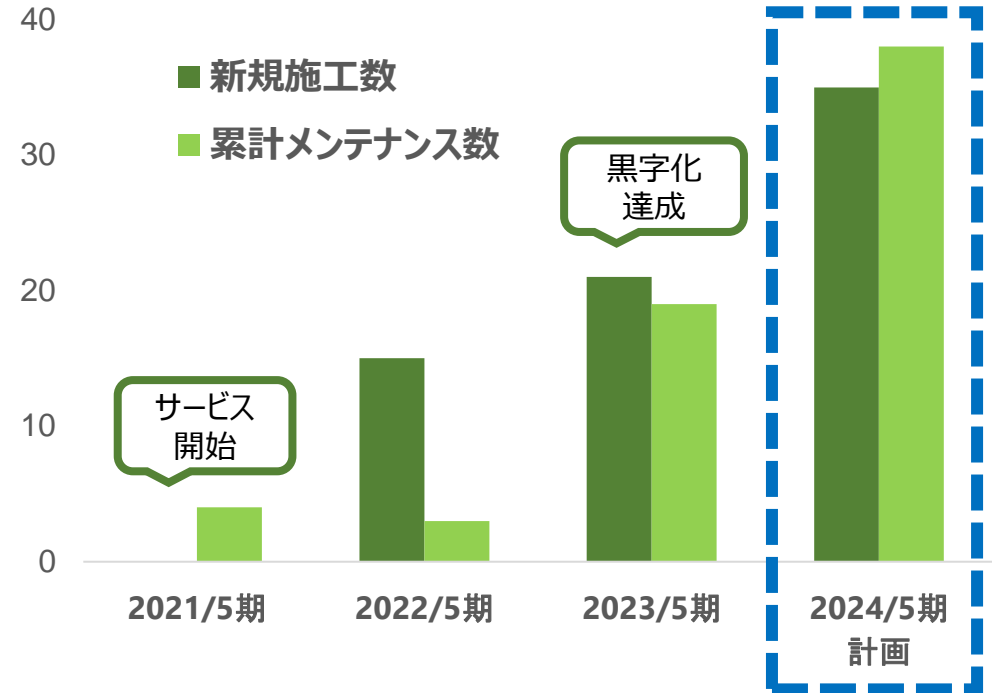
✓2023年5月期…当初赤字計画だったが、メンテナンス契約が順調に伸び、1年前倒して黒字化達成



## ＜新規施工数と累計メンテナンス数の推移＞

(施設数) 50

セリオガーデンについては今後も黒字を確保できる見通しとなったこと、また業績が新規施工数と累計メンテナンス数に連動すること踏まえ、今回よりセリオガーデンの進捗状況の開示として新規施工数と累計メンテナンス数推移・見通しを開示することとしました



## 【事業構造】



保育園、幼稚園等への  
芝生施工・定期メンテ



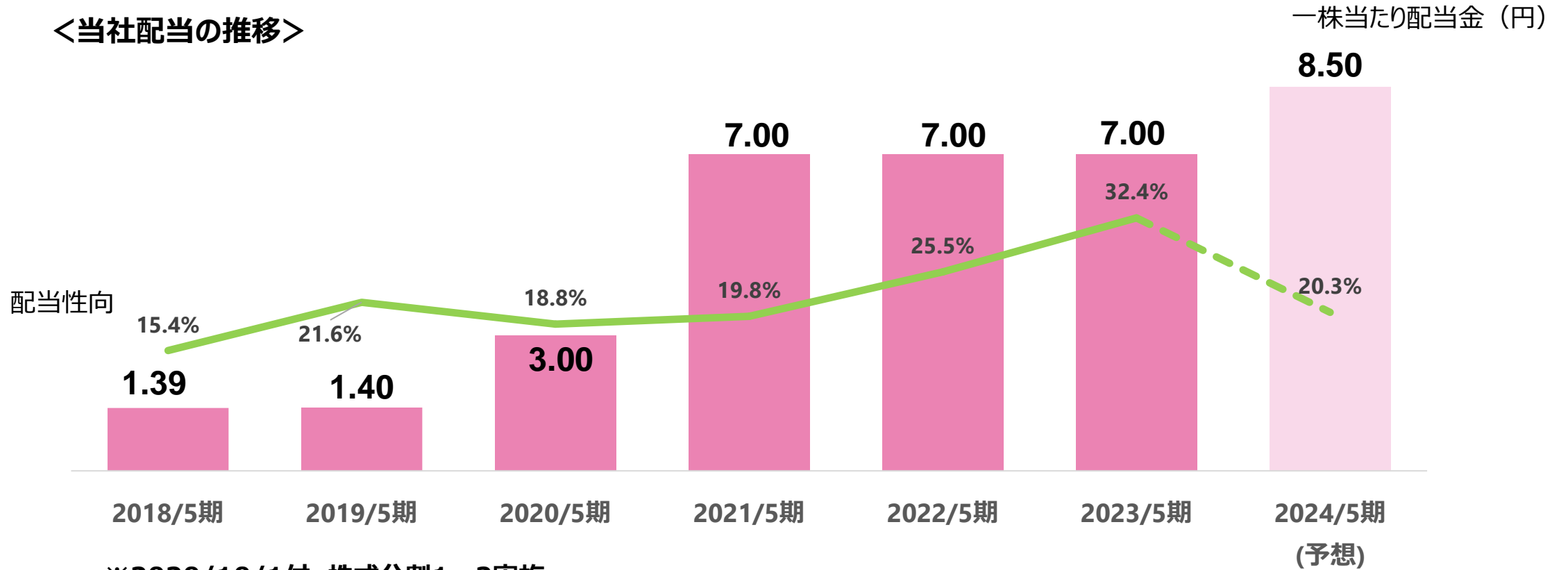
施工費・メンテ費



保育園 + 幼稚園  
4万施設以上  
小・中・高・大  
3.5万施設

- ✓業容拡大に向けた投資ならびに内部留保の充実を図りながら、継続的・安定的に配当を行うことを基本方針とする
- ✓配当性向20%を当面の目標とする
- ✓2024年5月期は、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続する

## <当社配当の推移>



※2020/10/1付\_株式分割1：2実施  
 グラフの2020年5月期以前の実績は、株式分割後の値で換算

# “家族の笑顔”があふれる豊かな未来へ

持続可能な社会の実現のため、全ステークホルダーとの共生を原点にESGに取り組んでいます。

Environment 環境	Social 社会		Governance 企業統治
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪市グリーンボンド債への投資</li> <li>● ICT化によるペーパーレス化推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 放課後施設での廃材を再利用した工作プログラム実施</li> </ul> </li> <li>● 保育施設への節水機器の設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育園・幼稚園等の園庭芝生化事業</li> </ul> </li> </ul>	<p>ワーク・ライフ・バランス</p>	<p>テレワーク制度 恒久化 時差出勤制度 恒久化 不妊治療休暇制度 年間休日125日以上 時間有給休暇制度 積立有給休暇制度 カムバック制度 ノー残業DAY 男性育休取得促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社外取締役3名（37.5%）</li> <li>● 女性取締役1名（12.5%）</li> <li>● リスクマネジメント委員会設置</li> <li>● コンプライアンス委員会設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社内通報制度</li> </ul> </li> <li>● コンプライアンス研修実施</li> <li>● 譲渡制限付株式報酬制度</li> </ul>
	<p>女性活躍推進</p>	<p>女性管理職比率70.8% ※1 育児関連福利厚生拡充</p>	
	<p>障がい者雇用促進</p>	<p>「tiku☆tiku」※2 「わくわく工房」創設★NEW ※3</p>	
	<p>健康経営</p>	<p>女性検診全額負担 社内禁煙制度 健康づくりアプリ利用開始★NEW</p>	

※1\_2023/5月期実績

※2\_保育園向け手作りおもちゃ工房

※3\_放課後向けプログラム・イベントのサポートチーム名称

# 2030年のセリオへ！

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」を目指し、持続可能な企業価値の向上に努めています。

SDGsへの取組みを通して、事業の持続的な発展と新たな事業展開を推進しています。



【放課後】

子どもたちにSDGsの理解を促進するプログラムを実施



【全社】

- 女性の就業と育児をサポートする事業展開
- セリオグループで働くすべての従業員が活躍できる働きやすい職場環境づくり



【保育】

- 保育士資格支援制度
- 花王グループカスタマーマーケティング様と連携し、紙おむつの定額サービスを提供
- 保育園向けの手作りおもちゃを制作。障がい者雇用の促進、保育士の業務負担軽減



【保育】

保育園給食における食品ロスを低減させる取り組み

【放課後】

印刷会社と提携し余剰紙を提供いただき、放課後施設で活用



【緑化事業】

保育園・幼稚園・学校への芝生の普及を通しヒートアイランド防止等、環境問題の改善に取り組む



放課後・保育事業において新設及び既存施設での積極的な児童受入れが寄与し増収。就労支援事業において前年の大型案件の剥落、コロナ影響による減収減益となるも、全社では売上・利益ともに計画達成

・就労支援のコロナによる減収  
・放課後、保育の新設計画大幅増による原価増見込みで利益減の業績予想修正実施

・放課後、保育の新設及び既存施設の積極的な児童受入れによる売上高増加  
・売上高増加に伴う利益増の業績予想修正実施

(百万円)

	2023/計画 ※2023/7/14公表	①2023/計画 ※2023/1/13公表	2023/5月期 累計実績	構成比	前年同期比 増減率	①通期計画 達成率
売上高	9,640	9,640	<b>9,792</b>	100.0%	+7.2%	101.6%
就労支援事業	2,855	2,550	<b>2,480</b>	25.3%	-8.0%	97.3%
放課後事業	2,895	2,910	<b>3,036</b>	31.0%	+7.5%	104.3%
保育事業	3,890	4,180	<b>4,275</b>	43.7%	+18.4%	102.3%
売上原価	7,849	8,022	<b>8,090</b>	82.6%	+7.9%	100.9%
売上総利益	1,790	1,618	<b>1,701</b>	17.4%	+4.3%	105.1%
営業利益	300	160	<b>204</b>	2.1%	-12.5%	127.9%
経常利益	300	165	<b>210</b>	2.1%	-22.8%	127.4%

✓2023年4月新規開設が寄与する見込みのため、施設数計画を前倒しし、売上高計画を上方修正  
 ✓2026年5月期 関わる家族21万人の笑顔をつくる・・・売上高 137億円 営業利益 7.6億円 を目指す

**進捗状況・外部環境変化  
による見直し内容**

- ・2023年5月期 当初計画の施設数を大幅に上回る新規施設開設
- ・2024年5月期以降 足元の原材料価格・光熱費高騰をおりこむ
- ・共働き世帯の増加等を背景とした学童の待機児童数は高止まり。放課後施設数計画を毎期10施設増→12施設増へ上方修正

(百万円)

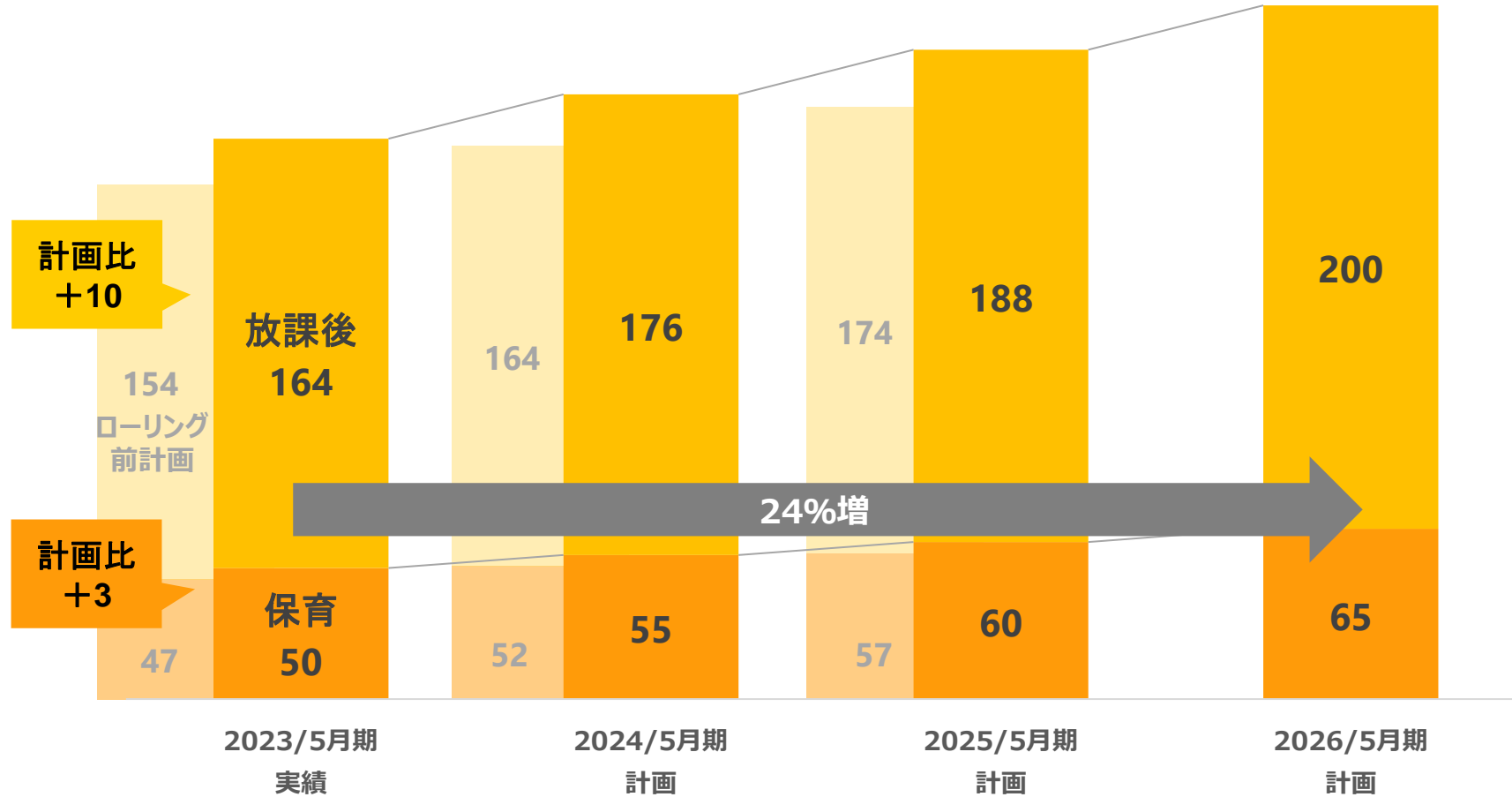
	2023/5月期		中期経営計画	
	修正計画	実績	2024/5月期	2025/5月期
売上高	9,640	9,792	10,800	12,000
営業利益	160	207	444	660
営業利益率	1.7%	2.1%	4.1%	5.5%

ローリング

	実績	中期経営計画		
		2023/5月期	2024/5月期	2025/5月期
売上高	9,792	11,110	12,600	<b>13,750</b>
営業利益	207	439	615	<b>766</b>
営業利益率	2.1%	4.0%	4.9%	<b>5.6%</b>

- ✓放課後、保育ともに運営実績が評価され新規施設獲得が順調に進む
- ✓放課後は高止まりしている待機児童問題を解消すべく需要は継続する見込み。保育は待機児童・保留児童が見込まれる地域を中心に開設を進めていく

＜放課後・保育施設数 計画＞



○女性就業率上昇により求められるサービス（就労支援、放課後、保育）

△少子高齢化や働き方改革の進行は女性の就業を押し上げる一方、早期職場復職による保育施設のニーズは不透明

×中長期で子どもの数は減少、保育園の待機児童は減少する見込みだが、学童保育の待機児童は未だ高水準で横ばい状況が続く見込み

外部環境	外部環境詳細・根拠	傾向	当社事業との関連
女性活躍の進行	女性就業率 2025年82.5%目標	・少子高齢化により 労働力人口の減少が進む ・共働き世帯の増加	就労支援、放課後、保育
働き方改革の進行	働き方改革関連法施行 改正育児・介護休業法施行	多様な働き方が許容され 男女ともにワーク・ライフ・バランス 重視の働き方が増加	就労支援、放課後、保育
少子化の進行	2022年出生数77万人 前年より4万人減※	晩婚・晩産に加え コロナ禍での結婚・妊娠控え	放課後、保育
気候変動の進行	温室効果ガス削減目標 「2030年度46%削減 (2013年比)」 2050年カーボンニュートラル	平均気温の上昇	放課後、保育、セリオガーデン

※厚生労働省「令和4年（2022）人口動態統計月報年計（概数）の概況（令和4年）」より



# 「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」 関わる家族21万人の笑顔をつくる。

就労支援事業	放課後事業	保育事業	セリオガーデン (保育セグメント)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主婦が「働きたい」 と思ったら「sacaso」※</li> <li>・主婦の働きやすさNO.1 を目指す</li> </ul>	<p>「明日も来たい」 子どもの笑顔があふれる 安心・安全な施設</p>	<p>「通わせたい・働きたい」 地域NO.1 保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑のじゅうたん」なら セリオガーデン</li> <li>・業界第一人者の 地位確立</li> </ul>

## コーポレート

- ・各種システム投資による業務効率化
- ・横断での育成・配置・能力開発・キャリア開発
- ・働きやすい環境づくり
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現

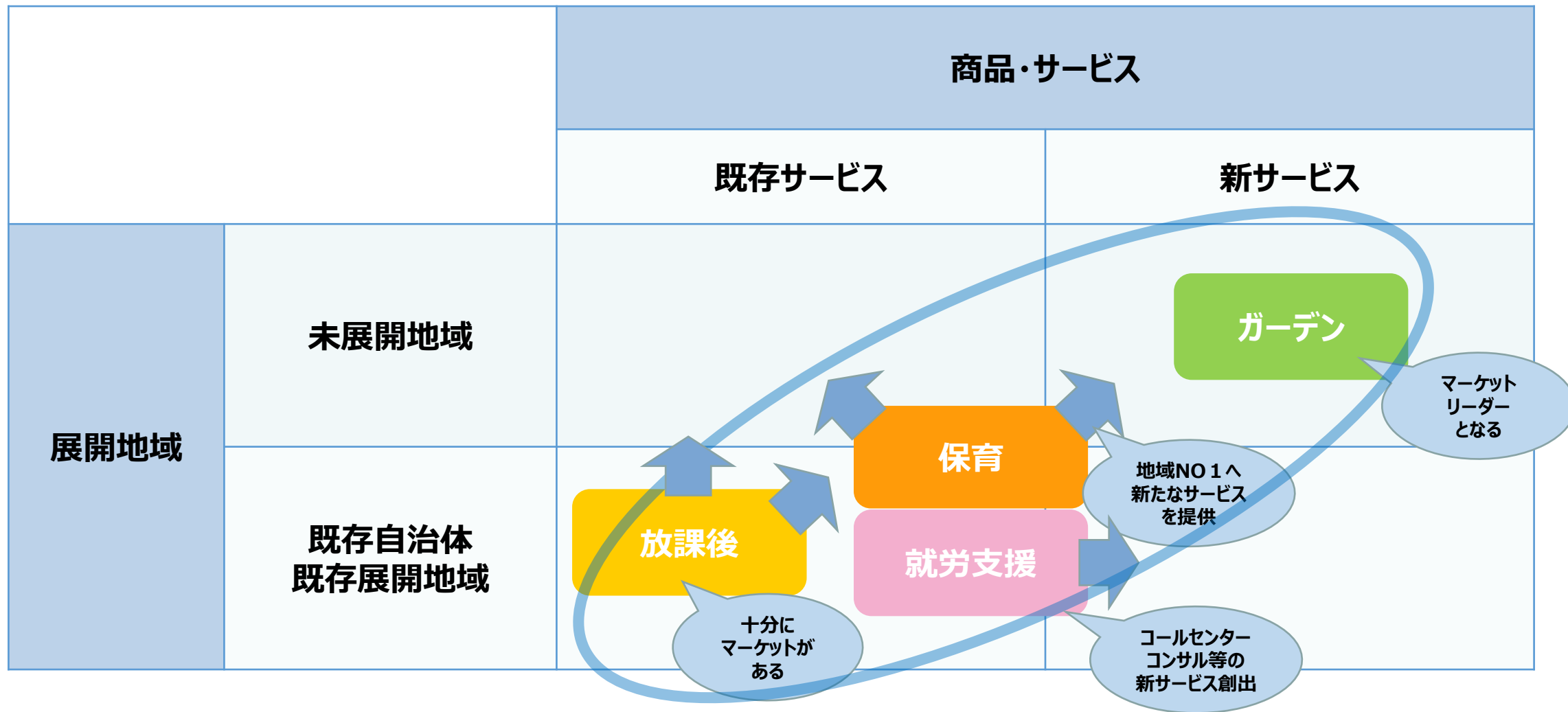
※sacaso…就労支援事業の事業ブランド名

	2022/5月期末	2023/5月期末
セリオファミリー	11万人	○13.5万人
グループ連結	売上高91億円 営業利益2.3億円	○売上高97億円 ×営業利益2億円
就労支援 稼働スタッフ	915名 うち主婦率80%	△988名 ○うち主婦率85%
放課後施設数 登録児童数	144施設 20,825名	○164施設 ○25,954名
保育施設数 利用園児数	42施設 1,894名	○50施設 ○2,336名
セリオガーデン 累計施工・メンテ数	18施設	○40施設



2026/5月期末
関わる家族21万人の笑顔をつくる
売上高137億円 (2023年5月期比+40%) 営業利益7.6億円 (同+274%)
1,300名 うち主婦率8割
200施設 30,400名
65施設 2,917名
累計施工&メンテナンス施設数 300

- ✓2026年の次の3年、10年先を見据え、グループ全体で新しいサービスや新しい地域への進出を行う
- ✓M&A、業務提携、新規事業の検討を継続



✓中期経営計画の戦略に沿って各部門進捗中

✓放課後・保育ともに東海エリアへのドミナント展開強化及び新規自治体への進出（2023年4月開設）

	ありたい姿	中期戦略骨子	進捗トピックス（2023年5月期）
コーポレート	2025年5月期 関わる家族17万人 の笑顔をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種システム投資による業務効率化</li> <li>横断での育成・能力開発・配置</li> <li>働きやすい環境づくり</li> <li>ワーク・ライフ・バランスの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GLTD保険導入</li> <li>新卒者向けメンター制度導入</li> <li>役職別研修開始</li> <li>育休復帰者向けメンター制度導入</li> <li>セリオグループとして「ハタラクエール2023 福利厚生推進法人」に認証</li> <li>新たな能力開発支援策の検討（2023年6月リリース）★NEW</li> </ul>
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>主婦が「働きたい」と思ったら「sacaso」※</li> <li>主婦の働きやすさNO.1を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主婦向けパートタイム派遣特化</li> <li>企業へのコストダウン提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣スタッフへのリフレッシュ休暇付与</li> <li>sacaso派遣のサービスが「日本子育て支援大賞2022」を受賞</li> </ul>
放課後	「明日も来たい」 子どもの笑顔があふれる 安心・安全な施設	民間へ運営移管自治体への ドミナント展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドミナント展開に向けた本部人員増強</li> <li>中期的な施設増に向けた人材の早期確保、育成強化</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【2023年4月開設施設トピックス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東海エリアへのドミナント展開強化</li> <li>新規自治体への進出</li> </ul> </div>
保育	「通わせたい・働きたい」 地域NO.1 保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童顕在化地域への展開</li> <li>選ばれる施設づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初の公立保育園の運営委託を受託</li> <li>園長主導のテーマ別横断委員会（質向上・コミュニケーション活性化他）</li> </ul>
セリオ ガーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緑のじゅうたん」ならセリオガーデン</li> <li>業界第一人者の地位確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規顧客開拓100施設</li> <li>定期メンテナンス体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校グラウンド大型受注</li> <li>東京進出により首都圏エリア拡大開始</li> <li>春施工開始（施工ピークを年1回→複数化へ）</li> </ul>

※sacaso…就労支援事業の事業ブランド名

2026年 3セグメント全て成長させ  
関わる家族21万人の笑顔をつくる

- 緑化事業
- 保育事業 保育セグメント
- 放課後事業
- 就労支援事業

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026

保育施設運営数			1	1	4	5	9	14	23	29	34	40	42	50	55	60	65
放課後施設運営数	1	2	2	4	34	89	114	132	127	127	133	144	144	164	176	188	200

リスク	詳細	関連するセグメント	発生する可能性	影響度	対応策
派遣スタッフの確保	労働力人口の減少等により、派遣需要に対し十分な派遣スタッフの確保ができない可能性	<b>就労支援</b>	中	中	主婦という潜在労働力を主にターゲットとしており、派遣先企業の繁閑差に応じて主婦の方が働きやすい短時間や週3日などのシフトを活用し人材確保を行う
法的規制	・労働者派遣法をはじめとする関係法令の制定・改廃等の変更がある場合 ・児童福祉法等の関係法令の制定・改廃等の変更がある場合	<b>就労支援</b> <b>放課後保育</b>	中	大	・関係法令に関する教育・研修の実施 ・多角的な事業展開により、特定事業に依存しない事業基盤を確立しつつ、新たな事業開発をすることで対応
少子化	少子化が急速に進行し市場が著しく縮小する場合の影響	<b>放課後保育</b>	大	大	・保育事業と比較し放課後事業への影響度合いは遅行する ・多角的な事業展開により、特定事業に依存しない事業基盤を確立しつつ、新たな事業開発をすることで対応 ・地域サービスの充実等、選ばれる保育施設への戦略強化
人材の確保	保育施設や放課後施設の増加に伴い、保育士、放課後指導員等の人材の獲得競争が激しくなり運営に必要な人材が確保できない可能性	<b>放課後保育</b>	小	中	・社内保育士資格取得支援制度、正社員登用制度等の活用 ・女性が働き続けやすい制度・待遇の充実、メンター制等の定着支援 ・就労支援事業で培った採用ノウハウの活用
施設での事故	施設における重大な事故・トラブルが発生した場合、自治体から営業停止の命令を受けたり、多くの児童が退園する可能性	<b>放課後保育</b>	小	大	・リスク管理委員会への事故報告により原因検証と横断的な再発防止策の策定 ・教育研修内容の深化、内部監査等による対応
感染症の流行	・派遣先企業の業績不振による出勤調整や派遣契約減少の可能性 ・放課後・保育施設利用者が大きく減少したり当社従業員が多数欠勤し施設運営ができなくなる可能性	<b>就労支援</b> <b>放課後保育</b>	中	小	・派遣先顧客を複数業種・職種に展開し極端な業績影響が生じないよう対応 ・ドミナント展開や本部支援による施設従業員補完体制にて対応

当資料に記載していないその他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。



### 【本資料の取扱いについて】

本資料には、将来の見通しや経営計画などに関する記述が含まれています。これらの記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、実際の結果は様々な要因により将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料に記載の当社グループ以外に関する情報は、一般に公開されている情報から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について保証するものではありません。

なお、本資料は、当社事業年度末後、3か月以内（毎年8月末迄）に開示する予定です。

〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビル8F  
TEL06-6442-0500  
<https://www.serio-holdings.co.jp/ir/>  
E-mail : [info2@serio-corp.com](mailto:info2@serio-corp.com)（経営企画室）